

2022. 8 月のブルーベリー農園その 1

東広島市豊栄町にあるブルーベリー農園はブルーベリーの最盛期に入っていて、安芸区矢野にある社会福祉法人安芸の郷の事業所の森の工房みみずくや、他に2つの障

害者の通う事業所、友人知人、安芸の郷のボランティアグループの皆さんが援農で摘み取りに参加頂いている。森の工房みみずくがブルーベリーの生食の販売窓口で、しっかり農園からブルーベリーの供給を行わないといけないのでとても助かっている。8月2日には放課後ディサービス事業所の子どもたちが職員と一緒に来園し、ワイワイと摘み取り体験をされた。



8月2日（火）

ブルーベリー農園には夏らしい青空が広がる。



8月4日（木）

里山のブルーベリー農園のブルーベリーの实。ブルーベリーは一気に実らない。おおよそ40日位をかけて色づいていく。



午前中ブルーベリー摘み取りの援農で3組のグループがお見えになり、園内のブルーベリーをたくさん摘み取って頂きブルーベリーをいっぱい森の工房みみずくに納品できた。



農園の庭のヤブランが花穂を見せている。



農園の近くの田んぼ。稲穂がしっかりついている。



8月6日（土）

3つのグループの援農があり、ブルーベリー畑、里山のブルーベリー園に分かれて多くの実を摘み取って頂く。



そろそろ休憩をする時間の午後2時頃空が暗くなり、雷がなり、ぱらぱらと雨が降り出してきた。休憩に入っていたら激しい雨が降ってきたので今日はおしまいにする。



皆さんが帰った後の雨上がりの空。



農園の花壇に今年もひとつホオズキが顔を出す。



里山の周辺に咲くナデシコ。標高約400mの農園はどことなく初秋のかすかな気配がする。

2022年8月8日
社会福祉法人安芸の郷
理事長 遊川和良

《2022年8月8日の「新・ヒロシマの心を世界に」のブログに掲載したものに写真を加えて編集しなおしています》

